

県内美術作家の
情報発信基地へ

倉吉の古民家が
「ギャラリー」に

木綿問屋の大番頭が
住んでいたという倉吉
市魚町の古民家が、鳥
取県内美術作家の作品
を展示する「ギャラリ
ー魚・Gyo」に生ま
れ変わった。古びたた

たずまいを生かしたギ
ャラリーが、観光客ら
を引き付けている。

ギャラリーは、地元
の美術家を知ってもら
う情報発信基地にする
のが狙い。NPO法人
未来の地域マネジャ
ー、光森明さんがとっ
とり総研の調査などを
もとに考えた。

建物は、大正初期の
建築といわれ、古くな
った畳の間は土間に改
装し、ギャラリー部分
の土壁も塗り替えた。
押し入れ部分は朱色に
塗り、代表作品などを
展示できる和のスペー



オープンしたギャラ
リーと、光森さん

スにした。

現在、ギャラリーに
は湯梨浜町出身の赤石
文雄さんが手掛けたパ
ステル画を展示。来場
した観光客らには「懐
かしい雰囲気」と好評
だという。

建物は、奥行きがあ
って通り抜けができる
ため、観光客に気軽に
通ってもらい、にぎわ
いづくりにもつなげる
考え。光森さんは「町
の底力を町の人が再発
見できる場所になるの
が一番いい」と、ギャ
ラリー効果に期待して
いる。

(八幡祥代)